

mission 温泉地にとって重要な「年間を通じたコンスタントな集客」に対し、閑散期である冬季のイベントが望まれている

「長門湯本でしか出会えないイベント」なら広域の集客につながる

これからの「長門湯本」

新・恩湯を中心に、
川床と川の風景を核にした
まちの使いこなしがある
アクティブな温泉地

既存の文化的コンテンツ

「元乃隅稻荷」「大寧寺」
「萩焼」
「金子みすゞ」「香月泰男」

光のイベントに求められること

写したくなる特別な風景
大人も子供も楽しめること
継続性

既存の中広域集客イベント

「納涼盆踊り大会」「湯本南条踊」
「リバーフェスタ」

地元の持つ地域のイメージ

美しい自然・ホテル飛ぶ川
静かな湯治場風情

光のイベントの傾向

映像・動き・カラー・音連動
聴衆参加型

守りたいこと

- ① イベント業者に依頼せず、自分たちで実施運営できること（レンタル機材を使用した業者依頼は必ず資金が尽きて終わる）
- ② インパクトはあるけれど、まちの風景になじむ内容であること。誰もが納得するできごと
- ③ 他のどこかで見たことがない風景であること

concept

1) 川があるからできるあかり

2) 長門のコンテンツを活かす

3) 光の変化が楽しめる

4) 地元のメンバーで設置できる

『音信川うたあかり』 (仮称)

「金子みすゞの詩」を中心に、詩や童謡に取り上げられる優しくて清らかな世界を視覚化
家族や恋人が、あかりの風景を見ながら「詩」の世界に思いをはせる静かな冬のイベント

- method
- アルミフレームに調光型ストリング等の光源を巻付けたモチーフを、ワイヤーで手すりに吊る
 - 調光によって緩やかな光の強弱をつける
 - 「詩」の掲示

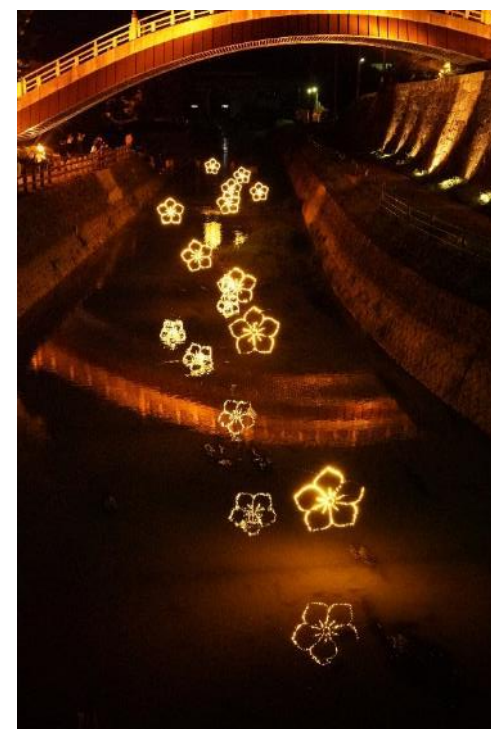
『金子みすゞ童謡集』(小学館)

山路に散ったカルタは
誰がとる。
むべ山ならぬこの山かぜが、
さつと一度にさらって。

山路に散ったカルタは、
誰が読む。
黒い小鳥が黒い尾はねで、
ちちッ、ちちッ、と啼いている。

山路に散ったカルタは
なんの札。
金と赤との落葉の札に、
虫くい流の筆のあと。

落葉のカルタ



弊社作品事例・実写(福知山市)

2月社会実験

- ・ 橋からの視点で設置してみる（予算によって数量は変わる）
- ・ 広報集客の実験（1ブロックすべてできればイベントとして告知が可能）

夕顔

お空の星が
夕顔に、
さびしいわ、と
ききました。

お乳のいろの
夕顔は、
さびしいわ、と
いいました。

お空の星は
それっきり、
すましてキラキラ
ひかります。

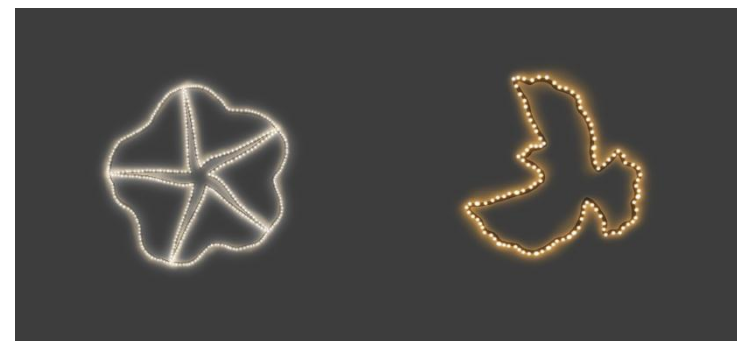
さびしくなった
夕顔は、
だんだん下を
むきました。

『泣きみずの龍池全集』
(C)ULIA出版局(PO)

橋からの視点 で配置した場合



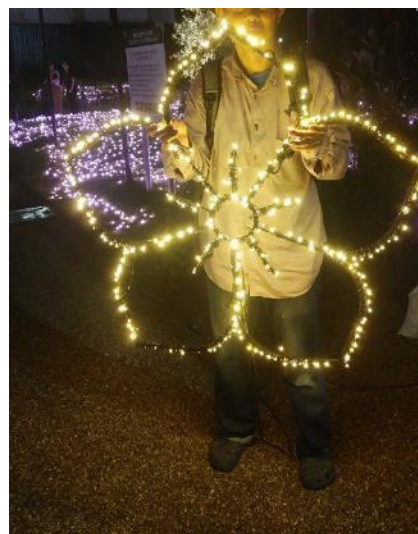
河川遊歩道からの視点 で配置した場合



調光や色温度の変化によって、
眺める楽しさを創出

地域の皆さんに製作に参加していただき 住民発信型のイベントに育てていくイメージ

自身で製作にかかわることで、イベントを能動的に実施する雰囲気が出てくる。



類似の製作風景（小さいものなら骨組みから製作可能。今回は右下写真のような大型のものを工場で製作予定。光源の巻きつけに参加していただく）

長門湯本温泉 冬季集客イベント創出・社会実験

みすゞのあかりモティーフ 製作応援隊ワークショップ のご案内

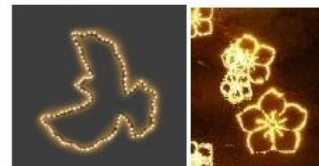
長門湯本温泉観光まちづくりの取り組みテーマの1つとして、観光のオフシーズンである冬季に集客効果のあるあかりのイベントを創出しようとしています。
本ワークショップでは、2019年2月に計画されているイベントのご説明と、そこで設置する「あかりモティーフ」の手づくり製作を行います。
ぜひ多くの皆様にご参加いただき、みんなで新しいおもてなしを創り出せたらと思います。

イベントのイメージ

金子みすゞの詩をテーマにしたあかりを
音信川に灯します！



つくるもののイメージ



金属のフレームにライトを巻きつけてつくります。お茶菓子を食べながらの楽しい作業！親子・友人同士の参加大歓迎！

誰でも簡単に作れます！
(小学生は高学年以上) 手ぶらでOK！

日時

1月20日（日）

13:00~16:00

場所

湯本温泉組合2階会議室

問合せ先 長門市経済観光部成長戦略推進課 担当:中原 TEL (0837) 23-1234